

ISHIDA TAKASHI AND GENEALOGY OF ABSTRACT ANIMATION

東京都写真美術館

地下1階展示室
恵比寿ガーデンプレイス内



Quest for Vision
映像をめぐる冒険

2009.12.22 tue - 2010.2.7 sun

- 主催=東京都 東京都写真美術館/産経新聞社 ●協力=NECディスプレイソリューションズ株式会社/東京都立多摩図書館
- 協賛=凸版印刷株式会社 ●後援=サンケイスポーツ、タカフジ、フジサンケイビジネスアイ、iza!、SANKEI EXPRESS
- 観覧料=一般500 [400] 円/学生400 [320] 円/中学生・65歳以上250 [200] 円
- ※ [] 内は20名以上の団体料金。東京都写真美術館友の会会員、小学生以下および障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料。第3水曜日は65歳以上は無料
- 開館時間=10:00-18:00 [木・金は20:00まで] 入館は閉館の30分前まで ※但し1月2日 [土]、3日 [日] は11:00-18:00
- 休館日=毎週月曜日 [月曜日が祝日の場合は開館し、翌火曜日は休館]、年末年始 [12月28日~1月1日]

石田尚志と抽象アニメーションの源流

躍動するイメージ

Quest for Vision, Vol. 2: ISHIDA TAKASHI AND GENEALOGY OF ABSTRACT ANIMATION

昨年度からスタートした「映像をめぐる冒険」は、東京都写真美術館映像コレクションの基本コンセプトである5つのテーマ「イメージネーションの表現」「アニメーション」「立体視」「拡大と縮小」「記録としての映像」を毎年ひとつずつ取りあげ、収蔵作品を中心に、多彩な特別展示とともに構成していくシリーズ企画です。第2回展となる今回は、「躍動するイメージ。石田尚志と抽象アニメーションの源流」と題し、気鋭のアーティスト・映像作家である石田尚志について、初の特集展示を行います。導入として、アニメーションの原理を19世紀の資料や映像装置などを用いてわかりやすく示します。そして、石田による表現の源泉ともいえる抽象アニメーションの時代を、写真・版画作品とともに展覧します。一般的にイメージされるキャラクターアニメーション（具体的な物や人などが登場し、物語を進行するもの）とは違う、もうひとつのアニメーションの魅力にせまります。

第1部 | アニメーションの原理

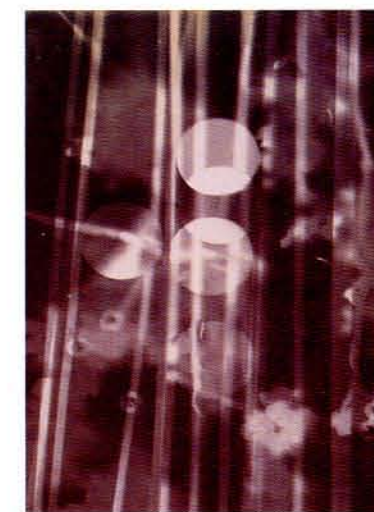
アニメーション、つまり「絵が動く」原理は、人の目の錯覚によるものです。3000点におよぶ東京都写真美術館映像コレクションから数々の古典的な視覚装置や連続写真などを紹介し、初期アニメーション成立の歴史や原理をわかりやすく示します。
〈出品予定〉フェナキスティスコープ（驚き盤）、ニュートンの円板、キノーラ、キネトスコープ、イードウィアード・マイブリッジ、エティエンヌ・ジュール＝マレほか



イードウィアード・マイブリッジ
《アニマル・ロコモーション》より
「ナマケモノ」1887年



フェナキスティスコープ（驚き盤）
1832年以降



ラースロー・モホイ＝ナジ
《フォトグラム》1922年頃



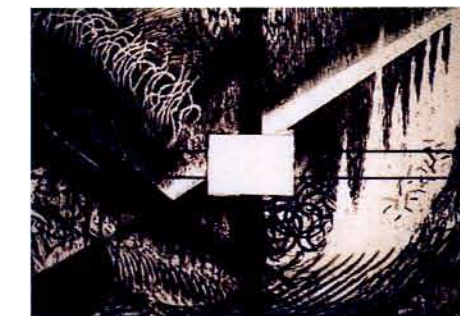
石田尚志《絵巻》1995年
[原画] 作家蔵

第2部 | 抽象アニメーションの源流

20世紀前半、映像特有の表現を模索した抽象アニメーションの実験は、音楽や絵画、写真などジャンルを横断して試みられた前衛運動と深くかかわったものでした。1920-30年代の作品を中心に、抽象アニメーションの源流をたどります。
〈出品予定〉ヴァシリー・カンディンスキー、ラースロー・モホイ＝ナジ、ハンス・リヒター、ヴィンセント・エッゲリング、オスカー・フィッシング、石元泰博・大辻清司・辻彩子ほか



石田尚志《海の映画》2007年 [ビデオ作品]



石田尚志《フーガの技法》2001年 [16ミリフィルム作品]

第3部 | 特集展示 石田尚志

石田尚志（1971-）は、有機的な線を主体とした描画をコマ撮りの手法で「動く絵」へと変貌させるドローイング・アニメーションにより自己のスタイルを確立。日本を代表する映像作家として世界中のフェスティバルで高い評価を受けている一方、美術展での発表も重ねている気鋭のアーティストです。抽象アニメーションの系譜を継ぎつつ、さらなる跳躍をはかるその仕事を、最初期の作品や、代表作、新作、未公開の原画でたどります。
〈出品予定〉《絵巻》1995年、《フーガの技法》2001年、《海の映画》2006年、《色の習作》2009年（新作）ほか

関連事業 ——— ●石田尚志アーティスト・トーク=1月16日（土）午後3時～ ゲスト=土屋誠一
●学芸員によるフロア・レクチャー=12月25日（金）、1月8日（金）、1月22日（金）午後2時～
●驚き盤をつくろう！オープンワークショップ=1月23日（土）・1月24日（日）午後1時～5時（随時）対象=小学生～大人まで
※詳細は館内配布チラシおよびホームページをごらんください。

東京都写真美術館 www.syabi.com

〒153-0062 東京都目黒区三田 1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内 TEL.03-3280-0099

■JR恵比寿駅東口改札より徒歩7分・東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩10分。
■当館には専用の駐車場はありません。お車でのご来館の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。



www.syabi.com